

# 出版案内

仙台藩の国学者 保田光則の名作

「撫子日記」を独自の目線で活字化!!

## 『古文書が語る地域の歴史 第三号』 ～保田光則著「撫子日記」～

【発行】岩出山古文書を読む会（会長 菊地 優子）

【監修】荒武賢一郎 東北大学 東北アジア研究センター  
上廣歴史資料学研究部門教授

【体裁】A4版 口絵カラー4頁 本文96頁

【価格】1,500円

【購入方法】

直接購入

取扱店 大崎市岩出山：宮本商店 TEL0229-72-1035

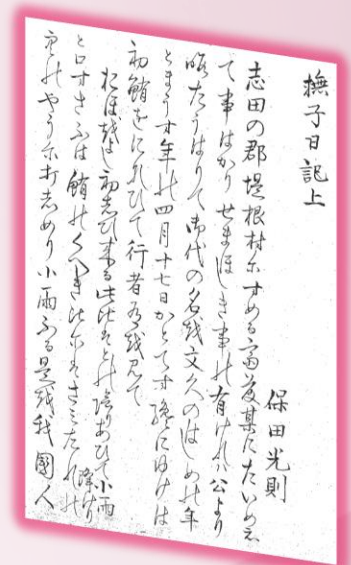
郵送希望 申し込み 大内まで TEL090-9639-4912

[sp5c2rr9@tenor.ocn.ne.jp](mailto:sp5c2rr9@tenor.ocn.ne.jp)

申し込み受付後、「代金+送料」を記した納付書を同封して送付しますので、納付書に従ってお振り込みください。

【お問合せ・連絡先】岩出山古文書を読む会 大内

090-9639-4912



購入申込書 『古文書が語る地域の歴史 第三号』～保田光則著「撫子日記」～

|         |
|---------|
| お名前     |
| ご住所     |
| 連絡先電話番号 |
| 購入数     |
| 冊       |

# 撫子日記上

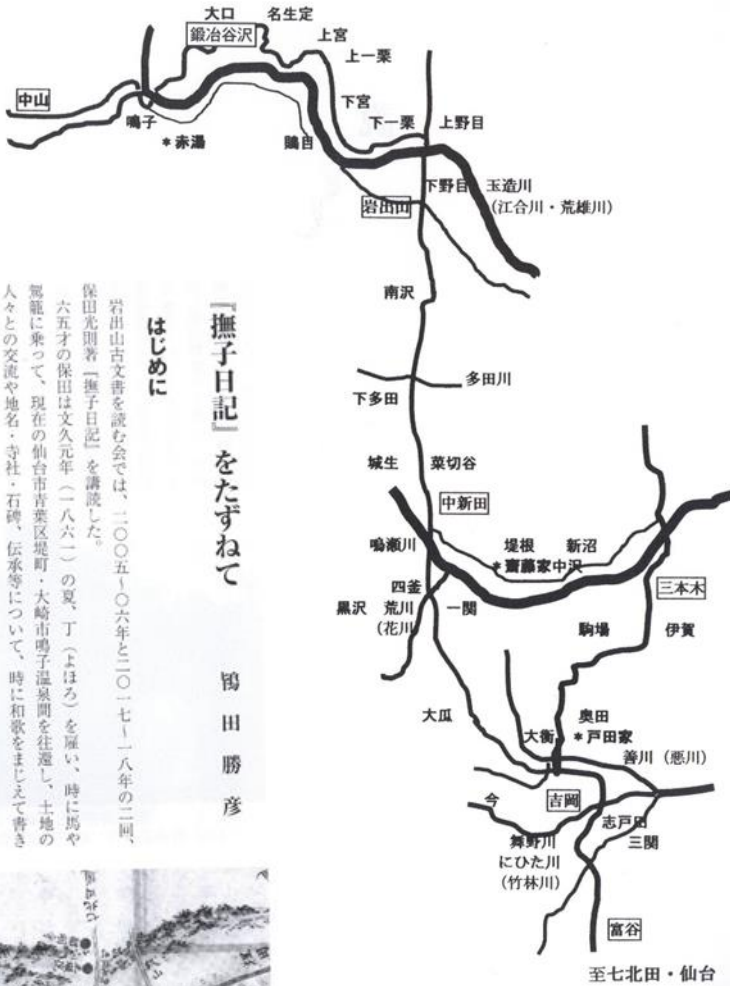
保田光則

志田の郡堤根村にすめる齋藤某にたいめえ  
て事はかりせまほしき事此有けん公より  
暇たうばりて御代の名義文久のはしめ年  
とまうす年此四月十七日かどです、織にゆけば  
初舖をになひて行者有見て  
おほをよし初しび米る此頃はとの陰りあひて小雨  
と口すさぶは舖のくべき頃には、さみだれの  
空のやうに打しめり小雨ふる、是を我国人

# 撫子日記上

保田光則

志田の郡堤根村にすめる齋藤某にたいめえ  
て事はかり、せまほしき事の有ければ、公より  
暇たうばりて御代の名を文久のはしめの年  
とまうす年の四月十七日かどです、織にゆけば  
初舖をになひて行者有見て  
おほをよし初しび米る此頃はとの陰りあひて小雨降り  
と口すさぶは舖のくべき頃には、さみだれの  
空のやうに打しめり小雨ふる、是を我国人



## 「撫子日記」をたずねて

鶴田勝彦

### はじめに

岩出山古文書を読む会では、二〇〇五―〇六年と二〇一七―一八年の二回、保田光則著「撫子日記」を講読した。  
六五才の保田は文久元年（一八六一）の夏、丁（よほろ）を雇い、時に馬や駕籠に乗って、現在の仙台市青葉区堤町・大崎市場子温泉間を往還し、土地の人々との交流や地名・寺社・石碑・伝承等について、時に和歌をまじえて書き記した。

私は二〇〇七年の二、三月の延べ七日間、このコースを自転車と徒歩で踏査し、「保田光則著『撫子日記』を歩く」を書いた。二〇一八年七月には会員「保田光則著『撫子日記』を歩く」を出版し、さらに進み黒松園地入口から県道二二号とほぼ平行



図1 堤と七北田道（御城下町割絵図）  
（宮城県図書館蔵）



図2 仙台藩刑場跡（対の地藏尊像あり）



旧奥州街道昌源寺坂から眺望する「旧吉岡宿付近と背後に見える七ツ森」  
（2017年度岩出山古文書を読む会移動研修にて）